



## 第43回 公立小中学校栄養教諭・学校栄養職員研究大会報告

10月20日（金）、第43回公立小中学校栄養教諭・学校栄養職員研究大会が、3年ぶりの会場参加に加え、オンライン同時配信を行うハイブリッド形式にて開催することができた。大会主題「深めよう 心と体を育む食教育」のもと、講演、実践発表、指導講話により充実した研修となった。各校での食育活動の発展に向け、考えを深めることができた。

### 1 講演 「ミッションを栄養で支える～宇宙とスポーツの現場から～」

講師 元 JAXA 宇宙飛行士健康管理グループ 管理栄養士 港屋 ますみ 先生



宇宙での栄養管理や宇宙食、軌道上での栄養摂取基準等について、また、スポーツ栄養ケアマネジメントについて、先生の御経験から大変貴重なお話を聞くことができた。栄養士にとって、常に新たなステージに目を向け、栄養管理の必要性をアプローチし続けることがとても大切であることを痛感した。「食育の原点は、学校給食」という先生からいただいた言葉を胸に、今後も研鑽を重ねたい。

### 2 実践発表 「八幡浜市と連携した食育の取組」

八幡浜市立川之石小学校 栄養教諭 永野 雄輝 先生

八幡浜市や関係機関と連携を図り、様々な食育事業を実践されている取組からは、コーディネーターとしての栄養教諭の役割の重要性を改めて実感することができた。PDCAサイクルをもとにした食育推進体制の構築を行うことにより、系統立てた食育が15年間継続的に行われ、子ども達への食育の積み重ねにもつながっていた。



### 3 指導講話 「食をめぐる現状と課題」

講師 愛媛県教育委員会保健体育課 指導主事 川本 道則 先生



令和4年度に実施された愛媛県県民健康調査の結果をもとに、愛媛県の健康課題解決に向けた私たちの役割について御指導いただいた。学校給食に携わる栄養教諭・学校栄養職員だからこそできる取組を考え、家庭・地域を巻き込んだ食育を行うことが重要であることが分かった。子ども達がより長く健康に過ごせるよう、地域の実態を踏まえた食に関する指導の充実に努めたい。



## 参加者アンケートより



#### 【栄養教諭・学校栄養職員等】

- 貴重な実践発表を聞くことができて良かったです。地場産物の活用を進めるうえで参考になりました。
- 学校の先生方や地域の方と一緒に、食育の推進力を入れたいと改めて感じました。

#### 【養護教員、その他の参加者】

- 愛媛県の健康課題を踏まえ、栄養教諭と連携した健康教育に取り組んでいきたいと強く思いました。
- どのような環境下においても、食の重要性を感じる内容でした。ありがとうございました。